

ワクチン・新規モダリティ研究開発事業

商務・サービスグループ
生物化学産業課

令和5年度概算要求額 **0.5 億円** (**0.5 億円**)

事業の内容

事業目的

重点感染症に対して、感染症有事にいち早く、安全で有効な、国際的に貢献できるワクチンを国内外に届けることを目指して、戦略的なファンディングを行います。

事業概要

①平時には長期的・安定的に、産学官・臨床現場の連携による総合的な研究開発推進体制により、戦略的に支援します。研究開発支援は、長期的視点で国際的に貢献することを念頭にし、(1)感染症ワクチンの開発、(2)ワクチン開発に資する新規モダリティ(創薬手法)の研究開発、の2本柱とします。②感染症有事には、平時のファンディングを通じて得られた最新の知見・技術やエビデンスを集積し、迅速・機動的なファンディングで必要となるワクチンの早期実用化を目指します。

事業スキーム(対象者、対象行為、補助率等)



成果目標

平時から新規モダリティを育成し、感染症ワクチンへの応用研究等を重ねることで、緊急時に速やかにワクチンが実用化され、国民にワクチンを早期に供給することを目指します。新規モダリティの育成に伴い、幅広い疾患ワクチンや治療薬等への展開も期待されます。